

2010春季生活闘争

産業にふく 追い風も 生活改善 には いたらず



鈴木中央闘争委員長

今春闘は、デフレ経済 紙パ産業は総じて、収 下で日本経済をどの様に 益が改善された。確かに 元気になるかという考え 原燃料価格の下落による のもとに、企業の業績改 善分を賃金に回し家計部 門を潤し、消費を回復さ せ内需拡大という、日本 経済の立て直しをはかる ことにある。

人への投資を 強く訴える

しかし経営側は、「国 際競争力強化」「雇用に 維持できない」「先行き が不透明」などと、一貫 して総額人件費抑制とい う発想のもとにコスト削 減を中心とした経営姿勢 を貫き、「業績改善分は 一時金で」と、大変厳し い交渉を展開してきた。

回答状況は、賃金改善 が六組合(四十四組合回 答中)、付帯要求を獲得 した四組合も実質の賃金 改善があったが、他では 賃金カーブ維持または定 昇を確保するのみであっ た。他産業の業績が良く った時も紙パ産業は乗り 遅れ、賃金改善ができな いく格差が開くばかりであ った。その意味では今回 はチャンスであったが、 組合員の期待に比べられ なる賃金改善が少なく残 念な結果だと言わざるを 得ない。

一方で一時金は、業種 別による収益差が鮮明と なり、板紙、特殊紙、段 ボール系が良い結果とな っている。七割弱の組合 とのりくむことが大事であ る。とにかく積極的に 「人への投資」を進めて、 人材育成し、良い人材を 確保しなければ、この産 業も企業もこの難局を乗り 越えられないと言っ ことを強く訴えてほしい。

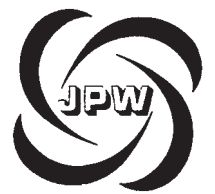
粘り強い 交渉の成果

紙パ連合の二〇一〇春季生活闘争は、紙パ産 業の業績が総じて回復傾向にあり、減収ながら も増益に転じている中で、賃上げでは、生活改 善分要求に結集しました。しかし、経営からは 「現状は大幅な減産体制、これからの紙・板紙 の需要についても先行きが不透明で、予断を許 さない状況である」といった取り巻く環境から、 賃上げ・一時金要求に対して極めて厳しい経営 対応の中での交渉になりました。

三月十三日に行った、三月十七日の第一次集中 拡大Hグループ会議で、決着日に向け、各構成組 を確認しました。



発行所
日本紙パルプ紙加工 産業労働組合連合会
〒107-8333 東京都港区北青山 2丁目12番4号
TEL 03-3402-7656
FAX 03-3402-7659
URL http://www.jpw.or.jp/
発行人 鈴木辰男
購読料は組合費を含む
定価2頁10円、4頁20円



これまで、Hグループ 各組合は、第一次集中決 着日に向けて、「紙パ産 業の現状は、日本経済の 悪化をうけて国内需要は 依然として低迷している が、しかし、こうした状 況下で、企業ごとにばら つきはあまるものの総じて 増益が見込まれている。 これは、会社諸施策に対 する組合員の懸命な協力 ・努力が企業体質を強化 してきた結果に他ならな い。企業の減産によって 諸手当のカットなど働く 者の家計が疲弊している 今こそ、会社はこれまで の組合員の頑張りに応え るべきである」と主張し、 誠意ある回答を強く求め てきました。

これに対して経営側は 組合員へ感謝の意は示す もの、「いまだ不透明 な経済情勢の中で、長期 的に雇用を守り、労働条 件を維持・向上させてい くためには、産業基盤・ 企業基盤の強化が重要な 課題であり、賃金・一時 金についても慎重な対応 をせざるを得ない」と厳 しい見解を示しました。

こうした中、三月十七 日の第一次集中決着日には、Lグループが先行し て回答を引き出し、Hグ ループ・一部のSグルー プ組合も回答を受けて、 妥結に向かいました。

現段階の妥結状況は、 賃上げは、数組合で「生 活改善分」として本給部 分

2010年 賃上げ平均要求・妥結一覧表(同一組合同比)(1)

規模別	2010/3/30		2009年		増減額	増減率	2009年				
	組合員数	平均賃金	組合員数	平均賃金			金額	率			
(加重平均)											
Lグループ	13,970	308,191	5,718	1.86	13,970	4,819	1.56	80	101.7	4,739	1.56
Hグループ	19,543	301,700	5,650	1.87	19,543	4,740	1.57	25	100.5	4,715	1.56
Sグループ	2,060	239,321	4,867	2.03	2,060	3,569	1.49	138	104.0	3,431	1.43
総計	21,603	295,752	5,575	1.89	21,603	4,628	1.56	36	100.8	4,592	1.55
(単純平均)											
Lグループ	5	304,635	5,710	1.87	5	4,870	1.60	▲8	99.8	4,878	1.60
Hグループ	15	292,802	5,483	1.87	15	4,607	1.57	4	100.1	4,603	1.57
Sグループ	23	276,214	5,008	2.09	23	3,594	1.50	195	105.7	3,399	1.41
総計	38	260,955	5,196	1.99	38	3,994	1.53	120	103.1	3,874	1.48

注1) 組合員数および平均所定内賃金は確定報告にもとづき変更した。

2) 率はベース賃金で換算。

2010年 夏季一時金 平均要求・妥結一覧表(同一組合同比、年間集約の夏季分含む)

規模別	2010/4/1 現在		2009年冬		2009年夏						
	組合員数	平均賃金	組合員数	平均賃金	組合員数	平均賃金					
(加重平均)											
Lグループ	13,970	308,191	772,161	2.51	13,970	710,519	2.31	709,170	2.30	697,919	2.26
Hグループ	20,758	300,023	746,302	2.49	20,758	680,966	2.27	666,705	2.22	656,195	2.08
Sグループ	2,261	242,201	621,138	2.56	2,261	513,046	2.12	493,657	2.04	491,771	2.03
総計	23,019	294,344	734,008	2.49	23,019	664,045	2.26	649,708	2.21	640,045	2.17
(単純平均)											
Lグループ	5	304,635	763,282	2.51	5	697,000	2.29	705,000	2.31	697,000	2.29
Hグループ	18	289,360	713,787	2.47	18	638,717	2.21	611,492	2.11	600,936	2.08
Sグループ	24	242,438	607,372	2.51	24	485,477	2.00	474,589	1.96	469,596	1.94
総計	42	262,547	652,979	2.49	42	551,151	2.10	533,262	2.03	525,885	2.00

注1) 組合員数及び平均所定内賃金は確定報告にもとづき変更した。

2) 金額・月数はベース賃金により換算。

3) 年間集約組合は半期ベースで記載。

鈴木委員長、 地球環境問題を訴える

中山内閣総理大臣補佐官との意見交換



左より、鈴木委員長、中山総理補佐官、小林参議院議員(首相官邸にて)

二月二十五日、鈴木 委員長は、小林正夫参 議員(電力総連)に 通じて、政府の地球 温暖化対策による紙パ 産業の実態とその影響 について、中山義活内 閣総理大臣補佐官と意 見交換を行いました。

これはまさしく民主 党政権になり、私たち の生の声が直接政治の 場に届く様になったこ とによるものです。

「家族はもとより、 友人・知人への支援の 輪を広げて頂くよう、 皆さんのご協力をお願 いします。」

分や、ひずみは正分の賃 金改善、諸手当の改善を カード維持分の回答にと 獲得することができまし どもっています。

また、一時金について は回復傾向にある企業業 績を背景に粘り強い交渉 によって、上積み回答を 引き出した組合も多く あります。

第2次集中決着日 妥決目標

産業間・企業間格差の拡大を阻止するため

賃上げ賃金カーブ維持分を確保し、生活改善分の獲得をはかる

業績を下支えする組合員の協力・努力に報いるため

一時金前年または前期実績を確保し、さらに大幅な上積みをめざす

賃金にこだわった交渉を Sグループ会議ひらく

第一次集中決着日に
結果しよう

Sグループ会議には、全国から二十六組合・三十七名が参加しました。会議に先立ち、Sグループ会議・近藤議長(愛媛製紙)から、「紙パ産業の業績は総じて回復基調にあるが、需要は減少しており先行きは必ずしも良いとはいえない。このような中でSグループ各組合は連携を深め、相乗効果を高めて早期の妥結を目指して「こう」とあいさつしました。続いて中小労働委員会・小林委員長(王子新)からは「Sグループの賃上げは厳しい結果であったが、福利厚生面が改善されるなどの成果があった。また一時金は総じて増額となった。これから交渉に入ると、先行き原料高騰などの懸念材料はあるが、現在の収益改善を強く訴え闘争を進めて「こう」と激励のあいさつがされました。



全国から37名が参加しました

しかし、「組合員の生活防衛のため、交渉では頑張っていく」との決意も同時に示されました。またSグループの中で第一次集中決着日に回答を引き出した組合からは、「第一次集中決着日に妥結することを目標に事前折衝をすすめてきた」、「賃上げ交渉は難航したが、一時金では成果があった」、「一時金は業績反映の色が強いが、安定した支給を望んでいる」などの報告がありました。

この後、妥結にむけた論議をし「妥結目標」を出席者全員の総意で決定するとともに、全組合が統一日程を遵守し、組合間の連絡など連携を密に連携を強め、早期解決をはかっていくことを確認しました。

早期の解決を
目指そう

鈴木委員長からは、第一次集中決着日を経た中で、世間動向や連合の状況、L・Hグループの闘争経過と妥結状況、紙パ産業の現状について報告するとともに、「昨年の闘争では、労働側が結束



雇用が上がれば、
生活も向上

中川真由美さん二年連続優秀賞

連合・メーデーポスター

連合・第八十一回メーデーポスターおよび、ポスターおよび、ポスターイラスト案が公募さ
デー中央大会(四月二十九日・代々木公園)にお
れ合計百二十一点の応募



が寄せられました。第四回常任実行委員会
で、応募作品を厳正かつ
公正に審査した結果、日
本製紙労働組合岩国支部
の中川真由美さんの作品
が、見事昨年に引き続き
二年連続して優秀賞に選
出されました。(上記は
中川さんの顔写真と、入
賞にあたってのコメント
です)

加 盟 組 合 の 紹 介

八代紙工労働組合

○職場・製品紹介
弊社は昭和四十一年
十二月十九日に日本製
紙八代工場の仕上げ部
門として設立され、設
立当時は平判包装と選
別業務に携わり、若い
女性の香りが溢れかえ
る女性中心の職場でし
た。ばってん、近年で
は、P・C用紙断裁加
工、巻取包装と汗の匂
いが漂う男性だらけの
仕上げ部門に変貌して
います。



前列左から、泉かずよ執行委員、柿崎重美執行委員、後列左から、山中俊夫副組合長、谷村幸治組合長、日永雅人書記長

組合の設立 1966年 12月
組合員数 82名
組合の構成 執行部：5名
(専従者なし)

現在、P・C用紙断裁加工が中心で最近では生産量も増えてきており、多様なメーカーの用紙を扱うため、品質管理を徹底して行っており、また、一方では、5S日本一の職場をめざして、活発な生産活動・生産環境作りを展開しています。

○地域の紹介
会社は、火の国熊本
の八代にあり、九州の
ほぼ中央に位置し、山
川・海と三拍子揃った
自然豊かな所で、水
がおいしく、トマト・
メロン・イチゴといった
特産物が有名で、たく
さんの九州男児(肥後
もっこす)と肥後美人
が住む街です。二〇一
一年に、九州新幹線が

全線開通します。
「ぎやんとこぼってん
が、機会があれば、せ
ひ八代の街にも立ち寄
って戴き、自然あふれ
る「よかとこ」八代を堪能
してみてください。」

○課題と抱負
当労組では、今まで
積み重ねてきた労使間
の信用・信頼を保ちな
がら、ますます厳しく
なる情勢を如何にして
お互いの立場を持続さ
せながら乗り切ること
ができるか、また、常
に掲げている年間休日
の引き上げについて課
題だと思っています。
これからも労使が一丸
となりの状況を乗り
越え、更なる発展につ
ながるよう活動・組織
強化に努めてまいりま
す。

トピック・ラリー

三菱製紙労組 難波 誠

60周年を迎えました
私たちが三菱製紙労働
組合は、今年四月に60
周年を迎えました。そ
れに先立ち昨年八月に



挨拶をする三菱労組山本前中央執行委員長

らの十年間を振り返る
DVDを上映しました
が、十年間で組合も会
社も色々と動いている
と改めて実感しまし
た。これからの時代の
流れに合わせて様々な
変化があると思いま
す。しっかりと取り組
んでいきたいと思いま
す。記念式典の様子は
当労組のホームページ
(www.mimwa.co.jp)に
載せています。他にも
当労組の活動などが載
っていますので、興味
のある方は是非見てみ
てください。